新築

PARAMOUNT

#### News

2020

#### パラマウント硝子工業株式会社 http://www.pgm.co.jp

#### (業務推進部)

T102-0083

だ。現在、環境省、

経済産

になっているのがZEH

東京都千代田区麹町 2-4-1 麹町大通りビル

TEL: 03-4582-5370

#### **今後の中誌が可能か戸建の坐てさん学問連の主かば品制度**

今後の申請が可能な戸建の省エネ住宅関連の主な補助制度												
	名称	概要	補助金額	公募・申請期間など								
新築	ZEH支援事業	ZEHロードマップの「ZEHの定義」を満たし、一般社団法人環境共創イニシアチブ(SII)に登録されている ZEHビルダー/プランナーが関与(設計、建築、改修または販売)する ZEHを対象とした補助制度。「Nearly ZEH」、「ZEH Oriented」も対象。	60万円/戸(蓄電システム(定 置型)の設置でkWh当たり 2万円加算(補助対象経費の 1/3または20万円のいずれ か低い額))。	公募は一般については四次 まで予定。公募期間は二次は 7月6日〜8月21日、三次8月 31日〜9月25日、四次11月 30日〜2021年1月8日を予 定。								
	ZEH+実証事業	「ZEHの定義」を満たしたうえで、25%以上の一次エネルギー消費量削減や再生可能エネルギーの自家消費拡大措置の導入などが必要。「蓄電システム」「燃料電池」「V2H充電設備(充放電設備)」のいずれか1つを導入する「次世代ZEH+」が新設。	ZEH+は115万円/戸。次世代ZEH+は115万円/戸に加え、導入する設備によって金額が加算される。(蓄電シ金額が加算で開型)の場合ではkWh当たり2万円加算(補助対象経費の1/3または20万円のいずれか低い額))。	公募は二次まで予定。期間は一次が6月1日〜8月28日まで、二次が9月7日〜10月30日までを予定(事前にZEHビルダー/プランナーごとに設定された補助対象枠内の上限枠内で実施)。								
	先進的再エネ熱 等導入支援事業	2020年度の「ZEH支援事業」、「ZEH+実証事業」などの交付決定を受けた補助対象住宅が対象。①直交集成板(CLT)②地中熱ヒートポンプ③PVTシステム④液体集熱式太陽熱利用システム⑤蓄電システム(ZEH+の補助対象住宅に導入する場合に限る)のいずれかの建材・設備を導入した場合に補助をする。	①90万円/戸②90万円/戸 ③【液体式】65万円/戸もし くは80万円/戸【空気式】90 万円/戸④12万円/戸もしく は15万円/戸③2万円/kWh (補助対象経費の1/3または 20万円のいずれかの低い額)。	ZEH 支援事業、ZEH+ 実証事業のいずれかの交付申請を行った後に申請すること(同時申請も可能)。								
	サステナブル建 築物等先導事業 (省CO₂先導型) LCCM住宅部門 (戸建住宅)	LCCM住宅に対する補助制度。主な要件は①ライフサイクルCO2の評価結果が0以下となるもの②ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス (ZEH) の要件を満たすもの③住宅としての品質が確保されたもの。	補助限度額は1戸当たり125 万円。	第2回提案募集を夏頃に予 定。								
リフォーム	長期優良住宅化 リフォーム推進 事業	既存住宅ストックの質の向上及び子育 てしやすい環境整備等を図るため、性 能向上を図るリフォームや三世代同居 等の複数世帯の同居への対応に資する リフォームに対する補助制度。	リフォーム工事実施後の住宅 性能に応じて1戸あたり100 万円〜250万円を補助。三世 代同居対応改修工事を実施 する場合は1戸当たり50万円 を上限に加算。	「通年申請タイプ」と「事前採択タイプ」があり、通年申請タイプは11月30日までの受付期間内に事業者登録を実施することで、交付申請を行うことができる。								
	高性能建材によ る住宅の断熱リ フォーム支援事 業(断熱リノベ)	住宅全体の一次エネルギー消費量のうち、15%以上の省エネ効果が見込まれる高性能建材(断熱材・ガラス・窓)を用いた住宅の断熱リフォームを支援。	補助対象経費の1/3以内で、 上限は戸建住宅で120万円 (家庭用蓄電システム、家庭 用蓄熱設備の設置にも設備 費や工事費を別途補助)。	公募は二次まで予定。一次は 5月11日〜7月17日。二次は 8月17日〜9月30日を予定。								
	次世代省エネ建 材支援事業	短工期で施工可能な高性能断熱パネル や潜熱蓄熱建材などの付加価値を有す る省エネ建材を用いた住宅の断熱リ フォームを支援。	補助対象経費の1/2以内で、 上限は戸建住宅で200万円。	公募は二次まで予定。一次は 5月11日〜7月17日。二次は 8月17日〜9月30日を予定。								

四次募集まで予定 てEH支援事業」 住宅の省エネ促進の旗頭 は

が相次いで行われている。 60万円を補助する。 で、ZEHに対して定額

今年度の一般公募につい

業省の支援策で公募・申請 環境省はZEH支援事業

2020年度の省エネ住宅に対する補助制度の公募、申請が相次いでスタートした。今年度の省エネ住宅に

マインドが冷え込むなかで、こうした補助制度をうまく活用した魅力ある提案が例年以上に求められている。 対する支援策など2019年度の同様のメニューが用意されている。新型コロナウイルスの影響で消費者 対する補助制度は3省連携による2EHへの支援制度の実施、一定以上の省エネ性能を高めたリフォームに

 $\exists$ 集期間が多く設定されてい る。二次公募が7月6日~ 8月21日、三次が8月31日 ~2021年1月8日 9月25日、

ては四次まで予定され、 四次が11月30 募

宅事業者に対する公募一新 新規にZEHに取り組む住 規取り組みZEHビルダー また、一般公募とは別に、 プランナー向け公募」も 利用しやすい

21日までとなって 一方、経済産業

実施。公募は8月

となっている。

事業を実施してい 省はZEH+実証

のさらなる強化や さらに高める「N ど Z E H の 性能 を HEMSの導入な 住宅に対する補助を「サス 補助額は1戸あたり上限 業」のLCCM部門で実施。 テナブル建築物等先導事 をマイナスにするLCCM イフサイクル全体でCO2 われている。 -25万円。今年度第2回 国土交通省は、住宅のラ

同事業は、

補助制度も開始 省エネリフォームの 目を夏頃に予定している。

補助を行う。 EH十」に対して

今年

うえで蓄電システ

リフォームに対する補助

の要件を満たした 度は「ZEH+」

制度もスタートした。 事業の実施。 事に対して補助を行う長期 住宅化を図るリフォーム工 優良住宅化リフォーム推進 国土交通省は、長期優良

放電設備)のうち 2H充電設備 ム、燃料電池、

完

いずれか一つを導 八した住宅に補助

ZEH+もある。

補助額はZEH

の認定を受けた「認定長期

などを用いた断熱改修に対 効果が見込まれる、断熱材

し補助を行う高性能建材に

全体の一次エネルギー消費

一方、環

境省では、

量のうち15%以上の省エネ

円。

一次公募が7月17日ま

長期優良住宅

(増改築)

優良住宅型」は200万円、

を加算する次世代

あたり105万 +に対しては1戸

長期優良住宅認定を受けた

よる住宅の

断熱リフォー

定されている。

は8月17日~9月30日で予

での期間で実施、二次公募

日まで。 うえ、一次 合は、事業者登録を行うこ 型」は250万円の補助が された「高度省エネルギー 者登録の受 とで交付由 助が50万円 応型工事」 受けられる。「三世代同居対 量が省エネ 補助の利 付期間は11月30 請できる。事業 用を希望する場 加算される。 を行う場合は補 基準比20%削減 エネルギー消費

締め切りは7月17日。二次

次公募が行われており、

住宅で120万円。現在、

支援事業を実施している。

補助額は補助対象経費の / 3以内で上限は戸建て

戸当たりの上限は200万 ネ建材支援事業を実施。 性能断熱パネルや潜熱蓄熱 予定されている。 建材を導入する次世代省エ 建材など付加価値を持った 公募は8月17~9月30日に そのほか、経済産業省で 短工期で施工可能な高

2021年12月31日までに入居すれば、控除期限

既存住宅を取得する場合や増改築工事は2020

次世代ZEH

+

次世代住宅ポイントについても運用が弾力化 される。2020年3月31日までに契約等を行っ たものが対象になっていたが、新型コロナの影 響により、期限までに契約ができなかった人に ついては、8月31日までに契約を行った場合、6 月1日から8月31日までの期間、ポイントの申

申請にはやむを得ず2020年3月31日までに 契約ができなかった理由の申告が必要となるが、 特に事業者側からの証明などの必要はない。

ポイントは予算額に達したら、その時点で終

#### 次が6月1日~8月28日 次まで予定されており、 募はすでに終了している。 り、事前枠を得るための 申請を受け付ける「事前枠 数を割り当て、その枠内で 事業は事前にZEHビル 付与方式」で実施されてお ダー/プランナーごとに戸 4万円~11万円が加算され 池を搭載した場合は定額 エネ住宅に対する補助も行 一次が9月7日~10月30 さらに、高いレベルの省 05万円に例えば燃料電 補助申請の公募期間は なお、このZEH+実証 新型コロナ対策で、

次世代ポイントなど住宅取得者も支援

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け て、世帯や個人、売上が下がった中小事業者に 一定額を給付する「持続化給付金」や休業手当 を100%支払いながら雇用維持を行う中小事業 者に対して助成する「雇用調整助成金」といっ た中小事業者向けの支援策が打ち出されている が、住宅取得者向けの支援策も展開されている。 まず、住宅ローン減税の適用要件の弾力化が

実施される。住宅ローン減税制度は、住宅ロー ンの残高の1%を所得税から10年間に渡り控除 する制度で、2019年10月1日から2020年12月 31日までに入居した場合、控除期間を13年間 に延長するという措置が講じられていた。

今回の支援策では、新型コロナウイルス感 染症の影響により入居が期限に遅れた場合、

3年間延長の対象となる。しかし、注文住宅を新 築する場合は2020年9月末までに、分譲住宅・ 年11月末までに契約を行う必要がある。

請が行える。

了となる。

## 断熱建材協議会

# 性能の評価方法「戸建住宅簡易計算シート・モデル住宅法・」に対応 ホームページでの公開を開始した。国土交通省が整備を進める省エネ 断熱建材協議会は、JIS規格に適合した断熱材の熱貫流率表を策定: したもの。住宅事業者が省エネ基準への適否を簡単に行えるようサポ

断熱材や開口部といった断 トしていく。

8-11) は、 熱建材業界の任意団体で、 入を通じた住宅省エネ化に向けた取り組 断熱建材協議会(東京都港区新橋5 断熱建材の導

率表を同協議会のWebで公開した。 エネ法に対応し、断熱材の部位別熱貫流 今回、この一環として、改正建築部省

が予定されている。 が創設され、2021年4月からの開始 者である建築士から建築主に対して、省 律。戸建て住宅に対する措置では、設計 エネ性能に関する説明を義務付ける制度 の総合的な省エネ対策が盛り込まれた法 改正建築物省エネ法は、住宅・建築物

算が必要になる。 省エネ基準に適合しているかどうかの計 場合は省エネ性能確保のための措置につ いて説明を求めている。そのためには は、省エネ基準への適否と、適合しない 建築主への省エネ性能の説明について

エネルギー消費量を算出し、省エネ基準 シート‐モデル住宅法‐」である。複雑 というもの。これが「戸建住宅簡易計算 単に評価できるツールの準備を進めてい かで、国では戸建住宅の省エネ性能を簡 な計算をすることなく、外皮性能や一次 算でその性能を評価できるようにしよう 熱材や開口部の熱貫流率を用いて、手計 る。具体的には、外皮性能については、断 の適合に向けた計算がハードルとなるな 説明義務化には、こうした省エネ基準 けて情報発信していく考えだ。

これまで省エネ性能の評価でハードルが 取り組みやすくなる。 高いと感じていた住宅事業者にとっても への適合が確認できるのがメリットだ。

## **熱貫流率が一目でわかる** 使用している仕様の

提条件を揃えたうえで、JIS規格に適 ら入ることができる。 算シート - モデル住宅法 - 」に対応した 枠組壁工法で部位(天井/屋根・外壁・ ものだ。各社でまちまちだった計算の前 // dankenkyou. 床) ごとに表にまとめている。 コーナー 合した断熱材の熱貫流率を、軸組構法と 、は同協議会のトップページ(http) 今回、断熱建材協議会が公開した熱貫 国土交通省「戸建住宅簡易計 com/)か

ツの充実化も図り、住宅の省エネ化に向 や住宅設備に関する数値などのコンテン 定でモデル住宅法の活用を促していきた い」としている。また今後、RC造など 例えば軸組構法では「天井(吹込み充填)」 木造以外に対応した断熱材の熱貫流率表 いる仕様の熱貫流率が一目で分かる。 材の性能を表記しており、今、使用して て、それぞれ対応するグラスウール断熱 「その他の床(根太間+大引間)」で分け 「外壁(充填)」「その他の床 (大引間)」 グラスウールの熱貫流率表をみると 同協議会では、「今回の熱貫流率表の策

グラスウール断熱材の熱貫流率表の例				(軸組構法 外壁(充填)※通気層あり)					
種類	JISによる 製品番号	密度 (kg/㎡)	熱伝導率 (W/(m·k))	製品厚さ (mm)	層	設計厚さ (mm)	JIS製品 熱抵抗値 (㎡·K/W)	熱貫流率 (W/(㎡ ·K))	備考
吹き込み用グラスウール断熱材	LFGW2238 LFGW3238	22 32	0.038	105	1	105	_	0.416	柱105mm
吹き込み用グラスウール断熱材	LFGW2238 LFGW3238	22 32	0.038	120	1	120	—	0.369	柱120mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG14-38	14	0.038	85	1	85	2.2	0.526	柱85mm以上
高性能グラスウール断熱材	GWHG14-38 GWHG16-38	14 16	0.038	90	1	90	2.4	0.492	柱90㎜以上
高性能グラスウール断熱材	GWHG14-38 GWHG16-38	14 16	0.038	105	1	105	2.8	0.413	柱105mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG16-38	16	0.038	120	1	120	3.2	0.366	柱120mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG24-36	24	0.036	105	1	105	2.9	0.403	柱105mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG24-36	24	0.036	120	1	120	3.3	0.359	柱120mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG20-35 GWHG24-35	20 24	0.035	105	1	105	3.0	0.395	柱105mm
高性能グラスウール断熱材	GWHG20-35 GWHG24-35	20 24	0.035	120	1	120	3.4	0.352	柱120mm

小型気密測定器 ドルフィン2

## olphin2

### 新型気密測定器に求められた圧倒的な スペックの進化と使いやすさを実現



システム全体で従来比、 約30%の軽量化を実現

システム構成品の90%以上を見直し最適化し、 送風機・測定器の両システムにおいて従来比30 %の軽量化を実現しました。新開発の専用ソフ トと圧倒的操作性が正確無比な試験結果をお 約束します。



安全への高い配慮

操作器は床置き。あとは軽いビニールダクトで 開口部に接続。転倒落下のリスクを軽減。



用途によって選べる 4タイプをラインナップ

オールマイティかつパーフェクトな3タイプPRO シリーズ、必要十分なスペックを凝縮し、圧倒的 な携帯性を実現した小型のAir。どのタイプも 圧倒的な使いやすさとパフォーマンスで、測定 環境にコミットします。



進化するソフトと ユーザーサポート

USBメモリを利用したアップデートを適宜実施。 定期メンテナンスプログラムの充実、動画の取 り扱い説明などによる強力なユーザーサポート。



簡単な操作で フレキシブルな測定が可能

JIS A 2201:2017 改正およびIBECテキスト に準拠。面倒な測定手順を省略化します(左下 の測定方法を参照)。もちろん、施工途中など1 回測定も可能で、調整から分析まで簡単なタッ チパネル操作で半自動測定。



測定結果をその場でデータ化

半自動で測定したデータは、その場でUSBメモ リに記録。エクセル形式の報告書としても記録



JIS (日本工業規格) に準拠 JIS A 2201:2017 改正 「送風機による住宅等の気密性能試験方法」 および IBEC テキストに準拠。

かんたん測定:施工途中など1回測定にも対応。/ JIS対応測定:測定前後の平均測定+3回測定。完成 測定方法 検査 (性能表示) や測定事業者向け。(2020年アップデート後より対応)

ヤマイチ株式会社

富山県富山市野口812

https://h1s.jp/dolphin/ Tel:076-436-0231 Fax:076-436-0254

